

本市における人口維持・増加に係る施策に関する提言

四日市市人口維持・増加戦略について考える分科会では、本市が人口維持・増加に向けた取組を総合的かつ実効性のあるものとして推進するために必要な施策等について調査・研究を行ってきた。その結果を踏まえ、以下のとおり提言する。

① 社会増重視の人口戦略を明確化し、関係部局が連携して全庁横断的に推進すること

出生数の減少による自然減は、全国的かつ構造的な課題であることから、本市においては、社会増の確保を人口減少対策の柱として明確に位置付ける必要がある。人口減少対策を単独の施策としてではなく、住宅、産業、子育て、シティプロモーション等の分野と連動させた戦略的な取組として推進されたい。

② 住宅施策の拡充及び周知啓発を強化し、市外からの転入と定住を促進すること

空き家対策や住み替え支援促進事業については、制度の認知度向上や支援内容の拡充を図り、市内への定住を促進されたい。さらには、移住施策として、新築住宅への支援も含め総合的に検討する必要がある。また、郊外住宅団地においては、移住者が増加した成功事例を他地区へ展開するなど、地域特性に応じた居住誘導策を講じ、持続可能な団地の再生の取組を推進されたい。

③ 中心市街地における防災・減災の視点を重視すること

中心市街地におけるにぎわい創出やマンションの供給等による居住促進については、一定の成果が認められる一方、昨年の水害を受け、市民の不安が高まっている。中心市街地への人口誘導を進めるに当たっては、防災・減災対策の強化を前提とし、災害リスクが人口動態や都市イメージに与える影響を十分に考慮した施策展開を図られたい。

④ 若年層・女性に選ばれる就労環境の整備を促す施策を充実させること

若年層、特に女性の市外流出が本市の人口減少要因の一つとなっていることから、若年層や女性に選ばれ、定着する魅力的なまちづくりを進める必要がある。若年層における単身世帯での顕著な男女差を解消するため、企業誘致や雇用創出と併せて女性が働きやすい環境整備を促す施策を推進されたい。

⑤ 子育て世代から選ばれる施策を推進すること

本市が子育て世代から選ばれるまちとなるためには、待機児童を早急に解消するとともに、これまでの子育て施策を検証した上で、他都市との施策の差別化を図る必要がある。「四日市に住みたい・住み続けたい」と思ってもらえるような特色ある子育て施策を推進されたい。

⑥ 外国人住民の受け入れと多文化共生を推進すること

人口規模の維持や労働力確保の観点から、外国人住民の受け入れは不可欠である。また、外国人住民を地域社会の一員として位置付け、多文化共生の視点に立った生活支援や地域との共生施策を進めるとともに、本市としての受入方針や方向性を明確に示されたい。